

平成二十一年度一般会計補正予算 地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業決定

議案第七十号（きめ細かな臨時交付金関係）について
宮地市長提案理由の説明

議案第七十号「平成二十一年度津山市一般会計補正予算（第五次）」についての補正予算は、昨年十二月八日に閣議決定されました明日の安心と成長のための緊急経済対策を踏まえて、国の平成二十一年度第二号補正予算に計上された地域活性化・きめ細かな臨時交付金を主な財源としてきめ細かなインフラ整備事業等の実施により地元の中企業、零細事業者の受注機会の確保に努め、積極的に地域活性化等に取り組みものでございます。また、非常に厳しい地域経済の実態を踏まえて、緊急経済対策として少しでも早い実施が望ましいことから、通常の三月補正予算とは切り離して編成いたしました。

第五次補正予算の結果、平成二十一年度一般会計補正予算（第五次）の補正額は四億二千四百六十七万円を増額し、予算総額は四百五十九億二千四百一十一万円となっております。このほか、繰越明許費は今回の歳出予算の計上に合わせて二十四件を設定いたしております。

委員会付託を省略し、本会議で採決・全議員の賛成で可決されました。

以下、決定された主な事業と予算の紹介です。

全体事業費：四億二千四百六十七万五千元

- ① 保育所・幼稚園・小中学校施設等の整備 一億七百六十八万八千円
- ② 市道・林道・河川の整備 一億三千三十万八千円
- ③ 観光施設の整備 八千九百九十万八千円

内訳

- 横野滝周辺整備
- 衆楽公園・神楽尾公園環境整備
- 黒木ダム周辺施設整備など

- ④ その他公共施設のきめ細かな整備 九千七百四十万七千円
- などの事業です。

平成二十二年度「一般会計当初予算」などを提案

三月議会に提案された、議案は、予算関係議案が三十五件、条例改正議案関係が十一件、その他案件が八件でした。

提案された「平成二十二年度予算議案」の特徴の紹介

「平成二十二年度一般会計予算」は、市長選挙のため骨格予算として編成され、予算規模は三百八十七億円と対前年度比七・八％減となりました。

歳出では、普通建設事業費は約三十三億六千万円の大幅減となっています。また、補助費等では原則として補助金の計上を見送り、物件費、維持補修費なども減額しています。人件費が約二億五千万円、公債費が約二億三千万円の減額となりましたが、扶助費が子ども手当の創設、生活保護費の増大などに伴い約十三億九千万円の増となりました。

歳入については、市税は法人市民税、個人市民税の落ち込みが見込まれるため、対前年度比約九億円減での計上でした。地方交付税は特別枠の創設による加算など、約四億一千万円増で計上しました。地方交付税及び臨時財政対策債は、一定の伸びを期待しており、平成二十二年度では、財政調整基金の取り崩しは行わない考え方を示しました。また、一般財源の総額は、二百八十二億一千四百九十三万円で、約十億三千万円の減の予算でした。その中で、扶助費は、子ども手当の創設、生活保護費の増大などに伴い、約十三億九千万円増の八十五億二千六百八十四万円です。義務的経費は二百二十三億四千九百七十七万円と、約九億一千万円増加しております。

議案第七十二号から議案第八十三号までの十二件の特別会計の総額は、二百六十二億六千三百三十万円であり、対前年度比四・二％の増となっております。その中で、議案第八十号「介護保険特別会計」では、地域支援事業費、保険給付費などで七十七億五千三百七十一万円の予算でした。

